

地方公共団体の職場における能率向上に関する研究会
【第4回】

平成23年4月21日(木)

<次 第>

- 1 開会
- 2 民間企業オフィス紹介
- 3 研究会中間報告書（案）
- 4 意見交換
- 5 閉会

<配付資料>

資料 1 民間企業オフィス紹介

資料 2 研究会中間報告書骨子（案）

先進オフィス事例と働き方の紹介
進化するワークスタイルとオフィス環境

コクヨ株式会社 RDIセンター 齋藤敦子
 2011.03.15

本日お話しすること

1. 進化の背景
2. 働き方とオフィス環境
3. ケーススタディ
4. まとめと今後の展望

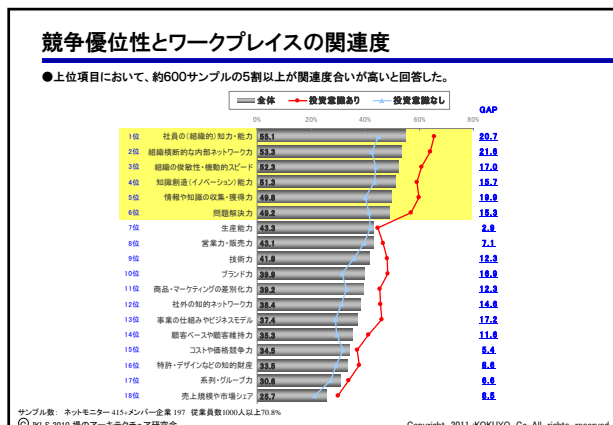
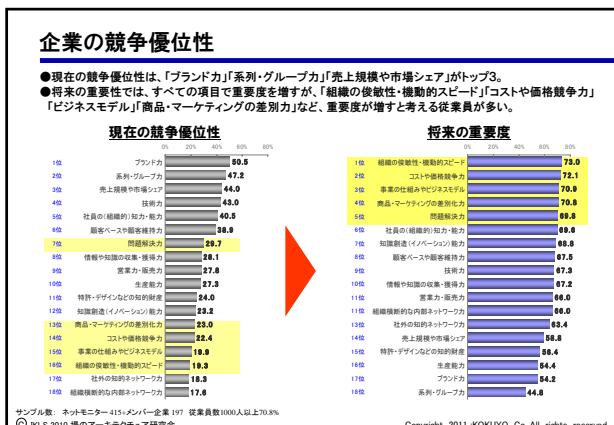
コクヨエコライヴオフィス品川

1. 進化の背景

変わる仕事と働き方

集中と交流
 ビジネスプロセス
 多様性
 テララーシステム
 分業・合理化
 スピード
 アジャイル
 変化対応

Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.



経営視点で働き方とオフィスを紐解くメディア「CATALYZER」

- 01 スピード×創造性
- 02 創発する組織
- 03 自律へ向かうワークスタイル
- 04 感性を拓くワークプレイス
- 05 クロスボーダー時代の働き方
- 06 学習するワークプレイス
- 07 グリーンワークスタイル

知が
鼓動する
組織

チームワーク

Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

経営者の声

CATALYZER インタビューより

- 柳井正 株式会社ファーストリテイリング 代表取締役会長兼社長
「現場とスピードを重視するために、会議室はいらない。現場の情報を把握し、的確な判断をしていくために、必要な人同士が一緒に仕事ができる、自律しながら協調して働くための環境が必要だ。」
- 進藤博信 株式会社アマナ 代表取締役社長
「クリエイティブの根拠は表現力。人材とナレッジこそが大切な経営資源だ。ワークプレイスはこれらを受容する器であり、良い環境が良い作品を作り出すことは明らかである。」
- 名倉三喜男 興和不動産株式会社 代表取締役社長
「付加価値の高い提案を繰り返すプロフェッショナルの高さが必要。仕事の成果は業務時間に比例しない。大切なのはどれだけ集中できるか。そして社員同士が知恵を出し合っているか。」
- 落合寛司 株式会社TBWA/HAKUHODO 代表取締役社長兼CEO
「ディスラプション(創造的破壊)こそが、私たちのクリエイティブメソッド。オフィスも既成概念を超えて、様々な価値がぶつかり合うクリエイティブのつぼみであるべき。」
- 鈴木英世 サッポロ飲料株式会社 代表取締役社長
「全体感を共有し、目理や課題を理解し、時には部署や役割を超えて厳しいことも言い合える関係づくり。社員が集まるワークプレイスはコネクティビティを生み出すことが重要だ。」

Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

共通する問題意識と課題

◆ホワイトカラーの生産性向上

- ・少人数で効率的に業務を行いたい
- ・組織横断的に問題解決したい

↓

今までのやり方ではいずれ限界が来る・・・

↓

- ・組織の俊敏性・機動的スピード
- ・コストや価格競争力
- ・事業の仕組みやビジネスモデル→新しい価値創造
- ・商品・マーケティングの差別化力
- ・問題化解決能力
- ・社員の(組織的)知力・能力
- ・知識創造(イノベーション)能力

Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

2. 働き方とオフィス環境

知的生産性を阻害するワークプレイス(よくあるケース)

- 組織がタコソバ化して知識が共有されない
- オフィス外にすることが多くてもシームレスに仕事ができない
- 組織に活気がなく新しいアイデアが出ない
- 一日ずっとPCに向かうだけで外部の情報が入ってこない
- 組織間に結束がなくバラバラ
- 多様性に乏しく画一的
- 部門以外の社員と交流する機会がない
- 無機質で変化やゆらぎがない
- 必要ときに必要な情報にすぐにアクセスできない
- 風景の変化がなく気分転換できない
- 机の上が書類だらけで整理整頓ができない
- 周囲のざわつきが気になって集中できない
- 明るすぎて常に覚醒状態ストレスが溜まる
- 室内温度や空気が不快で集中力が下がる

Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

ビジネスモデルの変化

工業社会モデル

- ・経済合理性追求
- ・大量生産、大量消費

↓

- ・クローズシステム
- ・分業化、効率化

情報処理

知識社会モデル

- ・社会共存性バランス
- ・環境、高齢化・・・

↓

- ・オープンシステム
- ・都度最適化、創造性

知識創造

Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

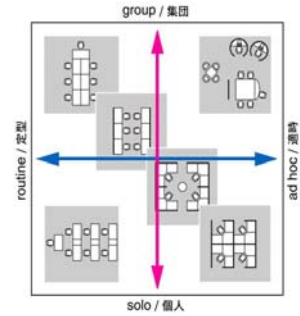
行動分析から考えるワークスタイル



出典: コクヨファニチャー Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

流動的なワークスタイルを支える環境

適業適所という考え方



出典: ECIFFO Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

オフィス環境の進化

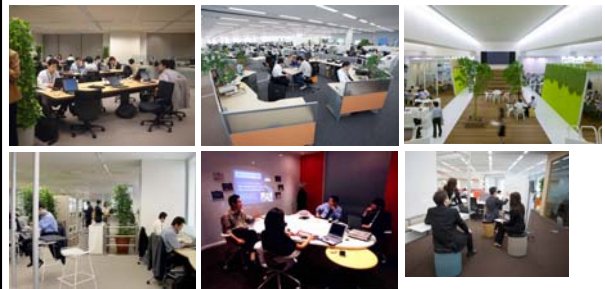
情報処理=事務所
知識創造=ワークプレイス



Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

オフィス環境は、機能配置から活動支援へ

Solo Group Interaction



Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

3. ケーススタディ

経営改革と働き方を変える場

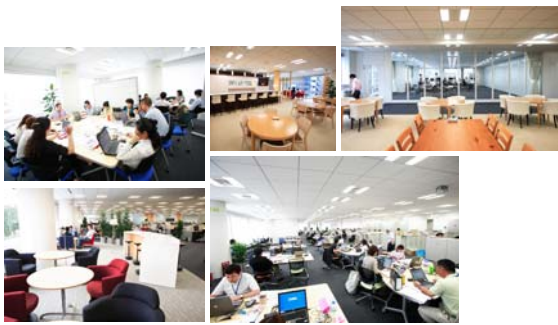
サッポロ飲料



出典: ECIFFO/CATALYZER Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

チームワーキングのための場

ファーストリテイリング



出展: CATALYZER

Copyright © 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

顧客をビジネスプロセスの中に招き入れる場

中沢フーズ



出展: 日経ニューオフィス賞

Copyright © 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

プロセスとブランドを社員に見える化・共有する場

BMW



出展: ECIFFO

Copyright © 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

異なる知を交流させるための場

アステラス製薬

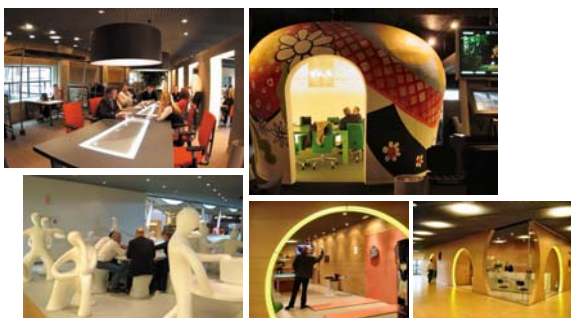


出展: 日経ニューオフィス賞

Copyright © 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

社員のモチベーション向上と学習を促す場

インターボリス



Copyright © 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

未来の社会をデザインする場

カントリーハウス



オランダ国前12省のFC、特定省庁の関与範囲ではなく各省の利用者から募られる独立組織。

Copyright © 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

産官民が交わるアイデア創発・実現の場 マインドラボ

経済産業省設立将来研究所。官庁施設の一部にある。デンマーク行政機関3省が共同で設立した組織および施設。公共部門に対し、市民や民間企業を巻き込んだ革新的な解決方法を生み出す場。

Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

社会問題をビジネスの手法で解く場 フューチャー・フォーカス

Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

近未来のワークスタイルを実験する場 ココヨ品川エコライボオフィス

Copyright 2010 KOKUYO Co. All rights reserved.

4. まとめと今後の展望

まとめ

<p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 組織の俊敏性・機動的スピード 2. コストや価格競争力 3. 事業の仕組みやビジネスモデル 4. 商品・マーケティングの差別化力 5. 問題化解決能力 6. 社員の(組織的)知力・能力 7. 知識創造(イノベーション)能力 	<p>【打ち手例】</p> <p>■働き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループプラクティス ・組織横断型プロジェクト ・オープンイノベーション(顧客も巻き込む) ・外部連携(専門家とBPO) ・プロセス共有、アジャイル開発 ・日常的な文脈情報共有 ・ソーシャルキャピタル(つながり) <p>■オフィス環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノンテリトリアルオフィス ・見える化、一体化オフィス ・コミュニケーション促進 ・非日常空間、ホスピタリティ ・目的別空間の選択肢
---	--

Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

総集編: 変化する世界

<p>人口構成 高齢化・少子化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●労働人口減少 ●経済成長力鈍化 ●医療・社会コスト上昇 ●定年と年金問題 	<p>産業経済 グローバル化 ポータレス化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●成熟市場と新興市場 ●海外拠点化 ●グローバル競争 ●資源調達競争 	
<p>企業経営 知識創造経営 高付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●収益力、ROE重視 ●スピード経営 ●イノベーション ●社会的使命と責任 	<p>個人生活 パーソナル化 多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●世界のフラット化と国 ●多様な価値観 ●自己実現と生涯学習 ●収入・資産格差増大 	

Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

総集編: オフィスの進化年表

	1960	1970	1980	1990	2000	2010	未来 2025 2050
時代	オイルショック	オイルショック	オイルショック	オイルショック	オイルショック	オイルショック	2025 2050
経済	経済の 高度成長期	安定成長期 OA化推進期	通商の自由化	経済・文化の国際化 ニューオフィス期	低成長期	実需期 タレントオフィス期	イノベーション
目標	安全性	効率性	機能性	快適性	柔軟性	交流性	多様性
環境	安全性	効率性	機能性	快適性	柔軟性	交流性	多様性
構造	ピラミッド	フラット	ネットワーク	フレキシブル			環境革新性
中心	コンピュータ中心	OA	ネットワーク中心	IT	コンテンツ中心	IP	サービス中心
道具	コンピュータ	ダウンサイジングPC	携帯/PDA	ユビキタス	インターネット		グリーン クラウド・HR...
オフィス	事務処理の場 (作業空間)	業務生産 効率の追求 (機能空間)	OA機器と の共存 (快適かつ機能的)	生活空間と しての認識 (人間環境系)	経営戦略資源と しての位置づけ	創造経営 職場の場	環境経営 信頼経営 (社会環境系)
スタイル	事務処理型	情報処理型	思考作業考慮型	変化対応型	知識創造型		環境革新型
オフィス	島型対向式	ブースタイプ	ノンデトリタル	クリエイティブオフィス			アジャイル インタラクション タイパシティ

総集編: オフィス環境がもたらす生産性

情報処理から知識創造へ
効率性と創造性の同時追求

一体感

集中と交流

チーム

適家適所

情報一覽と活用

見える
見える

Copyright 2011 KOKUYO Co. All rights reserved.

第1章 地方公共団体のワークスタイルを考える

(1) ワークスタイルの改革を目指して

(2) 組織の能率向上

(3) 住民ニーズへの対応

第2章 地方公共団体の職場が直面する課題

(1) 紙の資料があふれている

(2) 会議をもっと効率化したい

(3) コミュニケーションを活性化したい

(4) 執務スペースが狭い

(5) 電子データの管理方法が統一されていない

(6) 問合せへの対応をもっと良くしたい

(7) 効率的に仕事をして、業務時間を減らしたい



研究会中間報告書（案）

第3章 ワークスタイルを変える具体的方策

(1) 現状を把握する

(2) 理解を得る

(3) 具体的に取り組む

- ① 紙を減らす
- ② 会議を変える
- ③ コミュニケーション・スペースを増やす
- ④ 電子データを共有する
- ⑤ 住民の声を生かす
- ⑥ 業務プロセスを見直す



第4章 平成23年度への課題